

【10】修得すべき知識能力

(1)学部・学科

経済経営学部

経営学科

主要科目の特長と目標

1. 「ゼミナール1（ビジネスキャリア基礎）」

少人数の演習形式で実施される1年次必修科目です。この演習の目標は、①授業の受け方やレポートの書き方など、大学における基本的な学習方法を身につける、②経営学系、簿記・会計学系およびICT系に大別される経営学科の専門科目を2年次以降に学修する基礎知識を養う、③各種資格試験を念頭におき、ビジネス・パーソンに必要な社会人基礎力を修得するという3点です。各クラスの担当教員は、学習活動だけでなく、広く大学生活全般にかかわる種々の相談に応ずるCCTとなります。また、後期からは、2年次に入室する「ゼミナール2」の応募に向け、各「ゼミナール2」の学習内容や運営方法を確認していきます。

2. 「ゼミナール2」～「ゼミナール4」

経営学科において、2年次～4年次は必修科目である「ゼミナール2」～「ゼミナール4」が専門科目の学びの基軸となります。2年次に入室した「ゼミ2」を担当する教員のもとで、3年次は「ゼミ3」において、4年次は「ゼミ4」において学習を続けます。同じ教員・「ゼミ」の仲間とともに、3年間の継続的な学習活動を行うことが経営学科のカリキュラムの特長です。各「ゼミ」の学習内容は多岐にわたっており、また、地域連携・産学連携といった実践的な形態をとるところ、資格試験に向けた学習を重ねるところ、他大学との交流や合宿等のイベントを通じて共同学習を進めるところなど、運営方法も多様であり、自分に最適の「ゼミ」を見つけることが可能です。

3. 「基本経営学」

1年次必修の通年科目であり、経営学のエッセンスをわかりやすく概説します。経営学は企業を現代社会における重要な主体であると位置づけています。企業は、財・サービスを生み出し、社会に提供していますが、それ以外のさまざまな側面においても、社会に多大な影響を及ぼしています。このような企業の特質を解説するとともに、経営戦略論、経営組織論、経営管理論の基礎についても説明を行います。経営学科が開講している経営学系科目の基本として受講してください。授業は大人数の講義形式で行われますが、レポート等、提出された課題に対しては、個別に添削したうえでコメントを付すなど、丁寧な指導を行っています。

4. 「経営基本管理」

2年次必修の通年科目であり、経営学系の専門科目のうち、経営管理論の領域における中核となる講義です。経営管理とは、経営資源を組織の効率的な目標達成に向けて調整・統合する経営活動です。経験的・帰納的に整理された知識とノウハウの集合体としての基礎理論

を学んだうえで、企業などの実践主体の行動理解につなげていくことが目標です。前期は経営管理の基礎原理を紹介します。マネジメントとは何かということから始め、マネジメント・サイクルの考えに基づき、経営管理の実践主体であり、客体でもある組織の原理を中心に考えていきます。後期は、経営管理論の変遷・展開を理解するため、テイラーの科学的管理法、ファヨールの管理過程論などの諸学説を学びます。

5. 「入門簿記」

1年次必修の半期科目であり、簿記・会計学系の専門科目の出発点となる授業です。学習内容は日本商工会議所の「簿記初級」検定試験の出題範囲をカバーするものとなっています。講義形式の授業ですが、初学者にもわかりやすいように、問題練習として、仕訳や決算書の作成など、作業を丁寧に指導します。また、日々の自学自習が容易となるようにスマートフォン・アプリを提供しています。なお、商業高校の出身者等、すでに簿記を学んでおり、この授業の内容を易しく感ずるもの、「簿記初級」やその上位の検定試験に合格しているものに対しては、単位認定の措置をとり、より専門的な簿記・会計学系の科目の履修を勧めています。

以上